

情報発信・教育活動の充実

評価結果概要

南極教室、教員南極派遣プログラム、ホームページの開設・維持、南極展の開催、一般公開、南極・北極科学館の開設など、多様な形態で積極的に情報の発信が行われており、その努力と実績は高く評価できる。

実績・成果

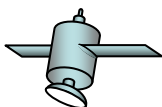
南極教室



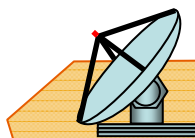
昭和基地
(南極 東オングル島)

昭和基地と日本の小中学校の教室をインテルサットの常時回線を活用し年間約30~40回実施

インテルサット衛星



教員南極派遣プログラム



日本国内



現職の教員を南極に派遣し、昭和基地から日本の児童、生徒に向けた授業を実施

南極・北極科学館



観測事業や観測成果、研究成果等を発信するため、平成22年7月に「南極・北極科学館」を開館した。平成23年11月現在の来館者数は、約44,000人

中高生南極北極科学コンテスト



中学生、高校生からの実験・研究の提案のうち可能なものについて、南極地域観測隊が南極において実施